第６学年 社会科学習指導案

日　時　７月１１日（金）６校時

対　象　６年２組　２５名

授業者　奈良　諒

1. 単元名 「天皇中心の国づくり」
2. 本時のテーマ 様々な立場，側面から考えをめぐらす学びっぷり

1. 本時の授業
2. 目標

中大兄皇子らによる政治を調べる活動を通して，天皇中心の国づくりが進んだこと，生活に苦しむ人々がいたことに気付き，政治の是非について自分の考えを説明することができる。

(2)展開　３／６

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動　 | ・教師の働きかけ　 ◎評価　 ☆支援 |
| １ 前時までを振り返る。　　２ 本時の見通しをもつ。３ 学習問題を設定する。 中大兄皇子たちが行った政治について調べ，自分の考えを友達に説明しよう。４ 政治について調べ，共有する。・大陸から新しい知識を学んできた遣隋使や遣唐　使とともに天皇中心の国づくり(大化の改新)が　進められた。・国に税を納めるしくみがつくられた。・法律(律令)によって土地や人々は国のものにな　　った。５ 自分の考えの整理し，説明する。・天皇中心の国づくりを進めたことで豪族のわが　ままな行動が減り，よい世の中になる。・土地や人々が国のものになり，全国を支配するこ　とで国がまとまるかもしれないが，今度は天皇の　力が強くなり，それをよく思わない人が現れるか　もしれない。・律令によって国(天皇)だけに富がたくさん集ま　り，人々の生活が苦しくなるのはいけない。６ まとめる国に税を納める，土地や人々を国のものにするなど，天皇中心の国をつくるための政治が行われた。７ 振り返る　 | ・聖徳太子の政治，乙巳の変について振り返らせる。・聖徳太子と同様に，天皇中心の国づくりが進めら　れていくのではないか，政治の是非について自分　の考えをまとめそうだ，という見通しをもたせる。・調べた内容を視聴覚映像でも確認する。・天皇を中心とした国をつくることが目的であった　ことをおさえる。◎為政者や人々の立場に着目し，政治の是非につい　て自分の考えを説明することができている。　【思考・判断・表現】ノート，発言，発表☆「為政者(国，天皇，政治を行う人)からすると…」　「人々からすると…」など，異なる立場，側面か　ら政治について捉えさせる。・税制度の確立によって国の収入が安定した点や　反発を緩和するために有力な豪族を朝廷の重要な　役につけた点，税によって生活苦に陥る人々がい　る点(「防人歌」「貧窮問答歌」)にふれ，児童の価　値観や判断をゆさぶる。・５での意見交流を踏まえ，児童に自身の言葉で　学習内容をまとめさせる。・本時の学習で分かったことや考えたこと，疑問に　思ったことなどを振り返らせる。 |